

投資事業評価調書(新規)

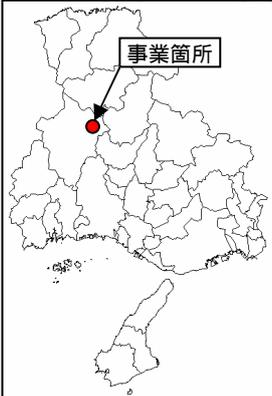
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	3.0 億円
		通常砂防事業 ののだに 野々谷川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟市一宮町上岸田 <small>いちのみやちょうかみきしだ</small>			H21	H21	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 14.0m, L = 90.0m) (H = 9.0m, L = 60.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一) 揖保川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み(最大1.8m)、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く(1.2m程度)堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ400m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家16戸、センター繁盛(避難所)</u> ・ <u>国道429号(緊急輸送路:約170m)、市道(約350m)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工所用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。				
	以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

の の た に か わ
野々谷川
[宍粟市]

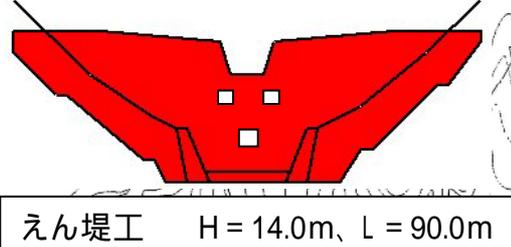
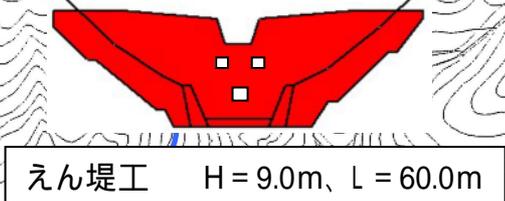
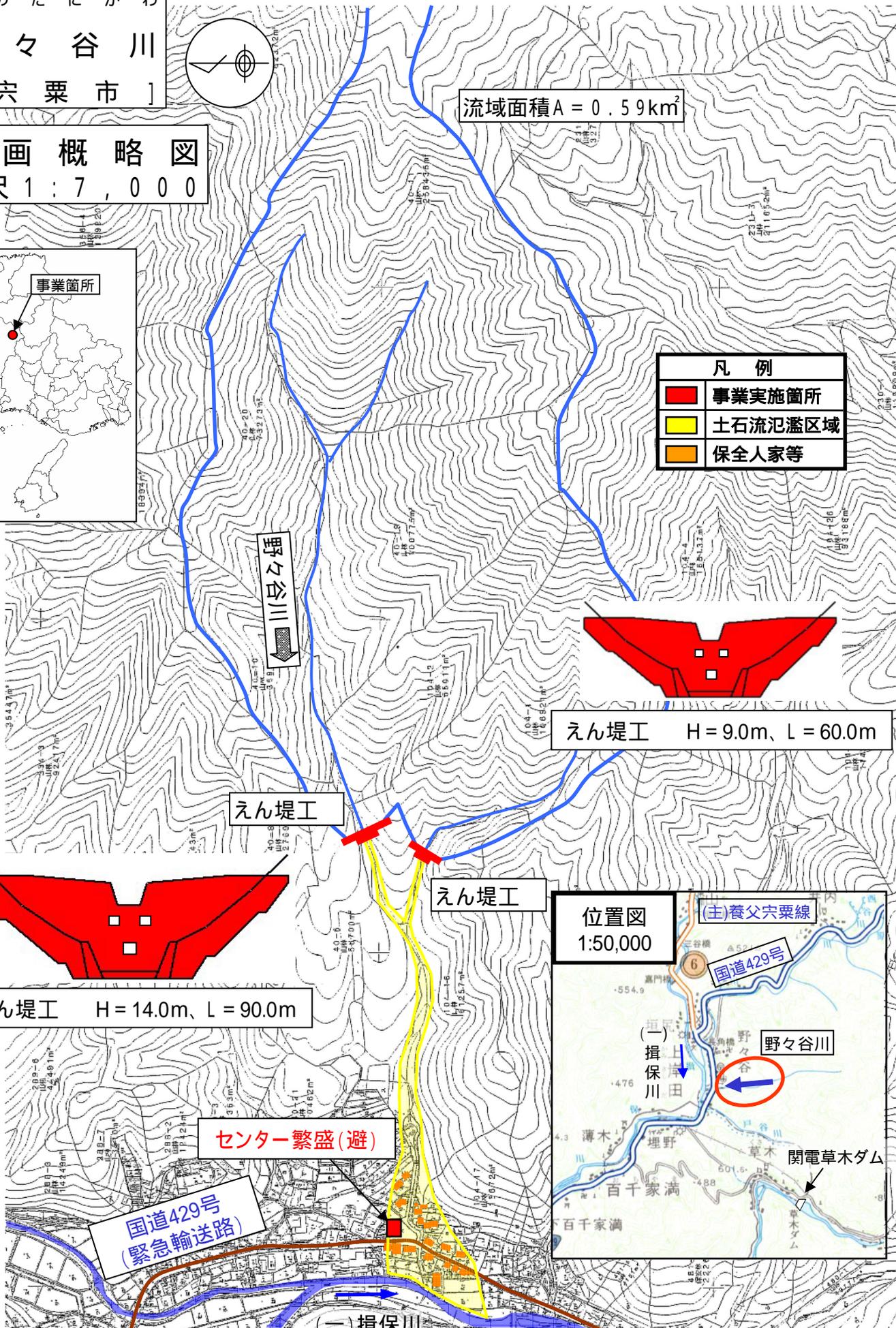


流域面積 $A = 0.59 \text{ km}^2$

計画概略図
縮尺 1:7,000



凡例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



国道429号
(緊急輸送路)

(一) 揖保川